

**The 3rd JCA-AACR Precision Cancer Medicine
International Conference**

*New frontiers in precision cancer medicine
through innovative modalities*

(革新的手法によるがん精密医療の新境地)

寄附金趣意書

一般社団法人日本癌学会
The 3rd JCA-AACR Precision Cancer Medicine International Conference
組織委員会

ご挨拶

謹啓 時下、ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。

この度、2025年6月28日(土)より6月30日(月)の3日間、京都東急ホテルとオンラインのハイブリッドにてThe 3rd JCA-AACR Precision Cancer Medicine International Conferenceを開催する運びとなりました。

がんゲノム医療は、我が国においても令和元年6月から診療に実装され、6年が経過しました。ゲノム検査に基づく精密な治療選択、すなわち Precision Medicine はがん医療に大きな変革をもたらしています。しかし、私たちはまだその潜在力を十分に引き出し切れておらず、さらなる発展が期待される段階にあります。このような中、日本癌学会 (Japanese Cancer Association: JCA) と米国癌学会 (American Association for Cancer Research: AACR) は、Precision Medicine に関する最先端の知見を共有し、共同研究を促進する目的で、第3回の JCA-AACR Precision Cancer Medicine International Conference を合同で開催いたします。

本国際カンファレンスは、がんゲノム研究およびその医療応用の第一人者である米 Johns Hopkins 大学の Victor E. Velculescu 博士を AACR 側の組織委員長にお迎えし、JCA 側とあわせて計 12 名の組織委員が企画に携わっています。本会のテーマである「New frontiers in precision cancer medicine through innovative modalities (革新的手法によるがん精密医療の新境地)」にのっとり、Precision Medicine の基礎研究から臨床研究、さらにはリアルワールドデータ活用までをテーマに幅広い議論が行われます。また、進展を続ける分子標的療法の開発とその臨床応用に加えて、新たな解析技術の応用や、がんの周辺環境へのアプローチなどを取り入れた「New generation precision medicine」の視点から、最新のデータと将来の展望が共有されます。多様な領域の研究者・臨床医が一堂に会し密な議論を行うことができる貴重な機会であり、今後の Precision Medicine のさらなる飛躍につながることを期待されます。

Precision Medicine をさらに発展させ、臨床現場での実用化を促進するためには、企業様のご協力がますます重要となります。本カンファレンスでは、世界中から本分野の第一線で活躍する研究者が集う場であり、企業様から最新の技術や製品をご紹介いただく機会となり、さらに、カンファレンスで議論された新しい技術や研究成果が、今後の機器開発・治療開発の革新に貢献するものと期待されます。

この機会をご活用いただき、産学連携の強化を通じて Precision Medicine の未来に貢献していただけますようお願い申し上げます。カンファレンス終了後も、フォローアップを通じて企業様とさらなる協力関係を築く場として、貴社の活動が今後のがん医療の進展に大きく寄与することを確信しております。関係諸賢におかれましては、この国際カンファレンスの重要性にご賛同いただき、ぜひとも The 3rd JCA-AACR Precision Cancer Medicine International Conference に御参画・御援助いただきますようお願い申し上げます。

謹白

2024年11月吉日

第3回 JCA-AACR Precision Cancer Medicine International Conference

日本側組織委員代表

加藤 元博 (東京大学医学部附属病院小児科)



開催概要

1. 会議名称: The 3rd JCA-AACR Precision Cancer Medicine International Conference
「New frontiers in precision cancer medicine through innovative modalities
(革新的手法によるがん精密医療の新境地)」
2. 主催機関および責任者名:
 - (1) 主催: 一般社団法人日本癌学会(JCA)、米国癌学会(AACR)
 - (2) 組織委員: 加藤 元博 (東京大学医学部附属病院小児科) (日本側代表)
Victor E. Velculescu (Johns Hopkins University, US) (米国側代表)
JCA) 西川 博嘉 (京都大学大学院医学研究科附属がん免疫総合研究センター)
河野 隆志 (国立がん研究センター がんゲノム情報管理センター)
坂田(柳元) 麻実子 (筑波大学 医学医療系血液内科学)
土井 俊彦 (国立がん研究センター東病院)
西村 栄美 (東京大学医科学研究所 老化再生生物学分野)
AACR) Peter K. Sorger, Harvard University, US
Marcel R.M. van den Brink, City of Hope, US
Francesca deMichelis, University of Trento, IT
Philippe L. Bedard, University Health Network, CA
TBA
3. 会期: 2025年6月28日(土)～6月30日(月)
4. 開催方式: ハイブリッド開催(京都東急ホテル + オンラインライブ配信)
会期終了後、オンデマンド配信/3か月程度
5. 構成: Keynote(日米代表)、指定講演(日米招聘者)、ポスター発表
ランチョンセミナー、イブニングセミナー、懇親会
6. 会議の目的と開催意義:

日米を中心とした国内外の研究者が参加し、最前線の Precision Cancer Medicine 研究およびがん医療について討議するとともに、世界における最新研究発表を通し、Precision Cancer Medicine の更なる発展及び産学連携を図る。
7. 開催計画概要:
 - (1) 予定講演数(会期3日間):
 - ・ Keynote 2 講演 加藤 元博、Victor E. Velculescu
 - ・ 指定講演(計8セッション) 24 講演(日米招聘者による会場講演)
 - ・ ランチョンセミナー 12 講演
 - ・ イブニングセミナー 2 講演
 - ・ ポスター発表 150 演題 (発表者地域指定なし)
 - (2) 第2回開催実績(2023年開催)
 - ・ 参加登録者数 326名 (招聘者・招待枠含む)
 - ・ ライブ+オンデマンド総視聴数 1690 views

8. 収支予算書と寄附を必要とする理由

【収入】

一般社団法人日本癌学会補助金	1,000,000
参加費(宿泊費含、150名予定)	9,000,000
協賛セミナー料金	20,000,000
広告料金(プログラム掲載)	2,200,000
広告料金(HP・視聴ポータル)	6,500,000
展示料金	1,000,000
寄附金・助成金	1,500,000
<hr/>	
小計	41,200,000

【支出】

会場費、機材・備品費(飲食含む)	9,400,000
ライブ配信費	3,300,000
宿泊費(招待者分含む)	7,500,000
外国人招聘費(14名)	12,000,000
印刷費(ポケット版300部)	2,500,000
演題登録システム・ホームページ関係費	2,700,000
事務局業務委託費	2,800,000
トラベルgrant他予備費	1,000,000
<hr/>	
小計	41,200,000

国際カンファレンスであり、米国癌学会からは Cancer Precision Medicine 研究の最先端にいる 14名の研究者を招待しておりますが、アメリカ東海岸からの招聘が半数以上であり、また為替レートの変動、航空券が高騰している現状を鑑み、海外研究者旅費として 1,200 万円程度の経費を想定しております。また本カンファレンスは、盛会であった前回に続き、第 3 回目となる今回はより多くの現地参加者が予想され、会場費、宿泊費等の諸経費についても約 1,690 万円程度と考えられます。加えて、来日・来場の難しい国内外の研究者に向けて広く発信するためオンライン開催(オンデマンド配信含む)も併用する予定であり、その他諸経費等も含めると、総費用は 4,120 万円程度と見込まれます。本来は、この経費すべてを参加費でまかなうべきではございますが、参加費はこれまでの慣例もあり、あまり高額な設定は避けたいと考えており、一般社団法人日本癌学会からの補助金、参加費、協賛セミナー、展示、バナー、抄録掲載広告収入等を計上し、収入の総計は 3,970 万円程度と見込まれます。そこで、上記との差額は各界からのご寄附によって充当するより他なく、募金のお願いをいたすことになった次第でございます。

誠に恐縮に存じますが、上記事情をご賢察の上、がん創薬研究の発展向上のため、格別のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

寄 附 金 要 項

1. 募金の名称 : 一般社団法人日本癌学会
2. 募金目標額 : 1,500,000 円(総経費 41,200,000 円)
3. 募金の対象先: 医薬品業界、医療機器業界
4. 募金の期間 : 2025 年 6 月 15 日(日)まで
5. 寄附金の使途: The 3rd JCA-AACR Precision Cancer Medicine International Conference の
事前準備、開催運営費に充当いたします。
6. 寄附金募集責任者: 加藤 元博(東京大学医学部附属病院小児科)
7. 寄附申込方法: 下記申込 URL にご入力いただきますようお願い申し上げます。
<https://vb.wufoo.com/forms/m17d32ne1x3ec83/>
領収書が必要な方は上記 URL 内に項目がありますのでご入力ください。
8. 寄附金振込先: みついすみとも いけぶくろひがしぐち
三井住友銀行 池袋東口支店
いっぽんしゃだんほうじん にほんがんがつかい
普通預金 9073145 一般社団法人 日本癌学会
9. 貴社ウェブサイトでの寄附金等の公開に関して:
製薬企業ならびに日本医療機器産業連合会の活動における医療機関等との関係の透明性・信頼性向上のため、医療機関および医療関係者等に対する研究費、寄附、交流等の支出に 関係する情報を、医療医薬品業・医療機器業が自社のウェブサイトで公開することに伴い、 貴社が当学会に対して行う寄附金等の支払いに関し、貴社ウェブサイトで公開されること(開示形式例: 第〇回〇〇学会〇〇セミナー: 〇〇円)に同意します
10. 寄附への特典対応として:
ご寄附をいただきますと、当会ならびに本カンファレンスホームページ、電子抄録集へ、ご寄附額に応じ貴社ロゴを掲示させていただきます。
11. 寄附、また本会議に関するお問い合わせ先:
The 3rd JCA-AACR Precision Cancer Medicine International Conference 運営事務局
協賛企業担当
有限会社ビジョンブリッジ内 (担当: 角田、前田)
〒162-0833 東京都新宿区笹筒町43 新神楽坂ビル 2 階
TEL: 03-5946-8570 E-mail: sponsor_jca-aacr2025@visionbridge.jp
受付時間 10:00 ~ 17:00 (土・日・祝除く)